

「JUIDA SCHOOL AWARDS2025」 スクール活動内容 応募資料

スクール名（法人名） 株式会社ミラテクドローン

・タイトル

大阪・関西万博 世界こども未来会議へ出展「ドローン」を通じて社会課題の解決を目指す！

・応募内容要旨

「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」に協賛し、ドローン体験のブース出展。親会社ミライト・ワンと共に「インフラから次の未来へ」というコンセプトのもと、ドローンシミュレーターによる操作体験を実施しました。

・アピールポイント

審査基準である、以下の 5 つのポイントを意識して、アピールポイントを記入してください。1. 独自性／2. 先進性／3. 創意工夫／4. 受講者視点／5. 安全教育の視点

1. 独自性

「国連を支える世界こども未来会議」という国際的な場で、ドローンの技術体験を提供した点がユニークです。未来を担う子どもたちに、インフラ DX の重要性を直接伝えました。

2. 先進性

ドローンシミュレーターを活用したことで、未来の技術を安全に体験させることができました。これにより、インフラ点検など専門分野の可能性を提示し、次世代の関心を早期から喚起しました。

3. 創意工夫

「インフラから次の未来へ」というコンセプトを設定し、ミライト・ワンとの連携を明確にしました。単なる操作体験に留まらず、社会的な意義と技術の関連性を理解させる工夫を凝らしました。

4. 受講者視点

ゲーム感覚で操作できるシミュレーターを採用し、子どもたちが飽きずに楽しんで学べる環境を創出しました。ドローンが持つ「楽しさ」を通じて、学びのハードルを下げました。

5. 安全教育の視点

実機ではなくシミュレーターを使うことで、衝突や落下のリスクをゼロにしました。安全な環境でドローンの基本操作を学ばせ、安全第一の精神を啓発する第一歩としました。



「国連を支える世界こども未来会議 FUTURE SUMMIT みらい総会」に協賛し、ドローン体験のブース出展。親会社ミライト・ワンと共に「インフラから次の未来へ」というコンセプトのもと、ドローンシミュレーターによる操作体験を実施しました。



「国連を支える世界こども未来会議」という国際的な場で、ドローンの技術体験を提供した点がユニークです。未来を担う子どもたちに、インフラの重要性を直接伝えました。



ドローンシミュレーターを活用したことで、未来の技術を安全に体験させることができました。これにより、インフラ点検など専門分野の可能性を提示し、次世代の関心を早期から喚起しました。



「インフラから次の未来へ」というコンセプトを設定し、ミライト・ワンとの連携を明確にしました。単なる操作体験に留まらず、社会的な意義と技術の関連性を理解させる工夫を凝らしました。



また、ゲーム感覚で操作できるシミュレーターを採用し、子どもたちが飽きずに楽しんで学べる環境を創出しました。ドローンが持つ「楽しさ」を通じて、学びのハードルを下げました。実機ではなくシミュレーターを使うことで、衝突や落下のリスクをゼロにしました。安全な環境でドローンの基本操作を学ばせ、安全第一の精神を啓発する第一歩としました。

写真中央：三原じゅん子 内閣府特命担当大臣

ミラテックドローン